

OTOWA カップ 第33回 関東女子ラグビーフットボール大会
Supported by アミノバイタル 大会実施要項

1. 名 称 OTOWA カップ 第33回関東女子ラグビーフットボール大会 Supported by アミノバイタル

2. 趣 旨

- (1) 関東地区における女子ラグビーチームの交流と、15人制ラグビーのレベルアップを図る。
- (2) 第9回全国女子ラグビーフットボール選手権大会の出場チーム及び順位を決定する。

3. 主 催 : 関東ラグビーフットボール協会

4. 主 管 : 関東ラグビーフットボール協会女子委員会

5. 協 力 : 茨城県ラグビーフットボール協会
神奈川県ラグビーフットボール協会
東京都ラグビーフットボール協会

6. 冠協賛 : 株式会社オトワ

7. 商品協賛 : 味の素(株)スポーツニュートリション部

8. 出場予定チーム

RKU グレース, 横河武蔵野 Artemi-Stars, 日本体育大学ラグビー部女子、東京山九フェニックス

【R. I. A】ARUKAS KUMAGAYA, 立正大学女子ラグビー部、国際武道大学

【YOKOHAMA TKM オーバルズ】YOKOHAMA TKM, 弘前サクラオーバルズ

【Tokyo LaDieS】Brave Louve, 東京外人 Girls、北海道バーバリアンズディアナ

10. 参加資格

(1) チームについて

関東圏内における所在地を管轄する各都道府県協会に登録しているチームまたはチームにより構成された合同チームであること。

(2) 選手について

- 所在地を管轄する各都道府県協会に登録している2004年4月1日以前に生まれた女子選手とする。
- 本大会を通じて同一選手の異なるチームでの出場は認めない。

(3) その他

- スポーツ安全保険に加入していること。

1 1. 競技規則

- (1) 2022 年度版 World Rugby 競技規則（ならびに一部服装については、平成 30 年改訂版競技規則（タグラグビー、U-12 ミニラグビー、U-15 ジュニアラグビー、19 歳未満 国内高専・高校以下用）にて実施する。
- (2) 試合時間
40 分ハーフ、ハーフタイムは 12 分以内とし、ロスタイム制にて実施する。
- (3) 15 人制の大会として実施し、試合当日の選手の登録は、23 名以内とする。
各チームは、試合前にレフリーにフロントロープレーヤーとその交代要員を知らせなければならない。フロントローの各プレーヤーおよび交代の可能性のある要員は、適切に訓練され、かつ、経験のあるプレーヤーでなければならない。
- (4) スコッドの人数
2022 年度版 World Rugby 競技規則 第 3 条-(8)および(9)に則って実施する。

スコッドの人数	スコッドにおけるフロントローの最低人数	最初の交替のとき、以下と交替できる者であること
15名、または、それ未満	3名	-
16～18名	4名	プロップ、または、フッカーのどちらか
19～22名	5名	プロップとフッカーの両方
23名	6名	ルースヘッドプロップ、タイトヘッドプロップ、および、フッカー

- (5) 選手の入替及び交代、大会が用意した入替／交替カードに必要事項を記入しマッチオフィシャルまたは、競技役員に提出し、レフリーの指示に従って行うものとする。
- (6) 19 歳未満（上記【10. 参加資格】を持つ 18 歳）の選手はヘッドギアならびに、マウスガードの着用を義務とする。

1 2. 競技方法

- (1) 試合人数：15 人制
- (2) 総当たりリーグ戦で順位を決定する。
- (3) 順位の決定方法

順位決定方法は、勝ち点制度を用いて決定する。

I. 勝ち点の多い順に順位決定を行う。

勝ち：4 点、引分：2 点、負け：0 点、不戦勝：5 点、不戦敗：0 点、不成立：2 点を与え、全試合終了時点で、最も勝ち点の多いチームを 1 位とする。

※ ボーナスポイントとして以下の勝ち点を与える。

- ・負けても 7 点差以内ならば、勝ち点「1」を追加。
- ・3 トライ差以上の勝ちならば、勝ち点「1」を追加。

II. 全試合終了時に勝点が同数の場合は、次の各号の順序により順位を決定する。

- ① 全試合の勝利数の多いチームから上位とする。
 - ② 当該チーム同士の試合で、勝ち点の多いチームを上位とする。
 - ③ 当該チーム同士の試合で、得失点差の多いチームを上位とする。
- ただし、当該チームが 2 チーム間の比較であった場合、前項(2)にて比較済のため、(4)の項目へ進むこととする。
- ④ 全試合の総得失点差の多いチームを上位とする。
 - ⑤ 全試合で総トライ数の多いチームを上位とする。
 - ⑥ 全試合でトライ後のゴール数の多いチームを上位とする。
 - ⑦ 当該チームで抽選を実施する

優勝・準優勝チームは、開催が予定されている「第9回全国女子ラグビーフットボール選手権大会」へ関東協会より推薦する。

(4) 試合中止時の取扱い

- ① 双方のチームの責に帰すべき事由によらない不可抗力により試合中止となった場合、不成立として扱い双方のチームに2点を付与する。得失点差は0-0として扱う。
- ② 一方のチームの責に帰すべき事由により、試合中止となった場合、その帰責性のあるチームは不戦敗として扱い、勝ち点は付与されず、対戦チームに5点を付与する。得失点は21-0(3T3G)として扱う。
- ③ 双方のチームの責に帰すべき事由により、試合中止となった場合、双方不戦敗として扱い、双方のチームに勝ち点は付与されない。得失点差は0-0として扱う。

※チームの責に帰すべき事由とは、試合登録人数を満たせなかった場合(Covid-19の影響を含む)を示す。具体例としては、不祥事・感染症を起因とする活動停止等の影響によりチーム側から公式戦辞退判断が出た場合や、怪我人が多発し試合に臨める状態ではなく、チーム側から公式戦辞退判断が出た場合が挙げられる。

双方のチームの責に帰すべき事由によらない不可抗力は、悪天候・地震等の天災地変、公的機関からの中止勧告、公共交通機関不通等を示す。

※双方のチームの責に帰すべき事由によらない(不可抗力)事由によって、試合が実施できなかった試合は予備日の1月14日(土)に実施とする。

13. アンコンテストスクラム

- (1) 退場あるいは負傷が理由で、適切に訓練されているフロントロープレーヤーがいなくなった場合、試合はアンコンテストスクラムにより続行される。
- (2) レフリーは、試合中に、チームに、競技規則に則った適切に訓練され、かつ、経験のあるフロントロープレーヤーがいない、または、安全上の理由で、アンコンテストスクラムを命じたら、その旨を試合主催者に報告する。
- (3) レフリーによりアンコンテストスクラムが命じられた場合でも、競技規則に基づいて試合は続行される。
- (4) また、その原因を作った側のチームの得点も記録され、勝敗および勝ち点に影響はないものとする。

- (5) 適切に訓練された前列がいる以上は、試合開始前から戦術的にアンコンテストスクラムを選択することはできない。

1 4. 大会登録および出場選手登録

- 大会登録メンバー表(書式1) 提出期限：10月20日(木)
- 出場選手は大会登録メンバー表提出の時点で所在地を管轄する各都道府県協会へ登録済みの選手のみとする。
- 出場選手登録書式(書式2)を各試合日程の48時間前までにメールにて提出すること。
- 出場選手の最終登録選手の変更は、当日のプレマッチミーティングまでとする。
- 合同チームは、合同チームでまとめて申込みをすること。
- 申し込みの際に、合同チームは、チーム名を決めて申し込みをすること。

【提出先：E-mail】 d_d_b_328@yahoo.co.jp 関東ラグビー協会 安田竜哉
satohk2728@gmail.com 関東ラグビー協会 佐藤克則

1 5. 外国人選手の出場

- (1) 外国籍の選手が参加する場合は(公財)日本ラグビーフットボール協会「チームの登録に関する規程」の「第4章外国人選手」にもとづいて、承認を受けた者に限る。
また、その後、継続的に日本に居住し、所属チーム部員として練習その他の活動を共にしており、所在地を管轄する各都道府県協会において登録した選手に限る。
※本年度に限り、新型コロナウイルス感染拡大対応にて外国籍選手の入国時期に制限がある事から、試合当日2週間前までに登録を完了することを条件に参加を認める。
- (2) アジア・ラグビーフットボール協会加盟国協会の国籍を有するものは、外国籍選手登と同時に「アジア枠」として登録することができる。
- (3) 選手としてアジア枠でフィールドオブプレーに入ることができる選手は、1名を限度とする。
- (4) アジア枠選手1名を除く外国籍選手は、試合へのエントリー人数は制限を設けなが
同時出場は3名までとする。

1 6. 参加費 1チームにつき 20,000円

1 7. 表彰

- 毎試合で1名、SOM(Star of the Match)を選出する。
- 優勝チームを表彰する。
- 大会最優秀選手 MVP(Most Valuable Player)を1名選出する。

1 8. 試合当日の練習場所

当日の練習場所は各会場にて指定されたウォーミングアップ場を使用し注意事項に従うこと。

1 9. テクニカルゾーン

- 試合会場に応じて実行委員会において随時定める。
- 競技区域内に入ることができるスタッフは、チームドクター・メディカルスタッフ2名・

給水係3名とし、キックティー係は給水係が兼務する。いずれも所在地を管轄する各都道府県協会へ登録している者が任を務める事とする。

20. プレマッチミーティングについて

- (1) 第1試合は試合開始80分前、第2試合は第1試合のハーフタイムに実施する。
- (2) 参加者は各試合のマッチコミッショナー、チーム代表者、レフリーとする。
- (3) プレマッチミーティングでは、以下の事項を確認する。
 - 出場登録選手の最終確認
 - 時計の同期
 - レフリーからのブリーフィング、ドレスチェック、コイントス時間及び場所の確認
 - その他、競技運営に関する留意事項を確認

21. チームの会場への入場について

- (1) 大会開催時点の新型コロナウイルス感染状況により試合会場に入場できるチーム関係者数、有観客などを検討し、参加チームへ連絡する。

22. その他

- (1) 試合当日のロッカールームの割付、タイムスケジュール、会場における留意事項などは、関東協会から連絡する。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策については、別途定めるガイドラインに従うこと。
- (3) 悪天候による当日の試合の開催可否判断について。マッチコミッショナー・マッチオフィシャルの判断により、両チーム、ならびに関係者（グラウンド管理者等）と協議の上決定する。試合の中止が決定した場合は引き分けとする。
- (4) ハーフタイムまたは後半途中で試合が中断し、再開することが出来ないと判断された場合、その時点で試合は成立した事とする。
- (5) 前半途中で試合が中断し、そのまま再開出来ない場合、引き分けとする。
※試合再開の目処は遅くとも試合中断後60分後を目安とする。また、その判断は試合中断、30分以内を目途とする。
- (6) 関東協会女子委員会は新型コロナウイルス感染症状況によって大会・試合の中止・延期の決定する場合がある。
- (7) 大型台風等々、試合の開催に様々な危険をもたらす恐れがある場合は、関東協会女子委員会にて試合開催可否を判断する場合がある。